

BeLive

1

白石踊の伝統を受け継ぐ活動

倉敷翠松高等学校
白石踊800年の伝統を受け継ぐ会

白石踊800年の伝統を受け継ぐ



白石踊800年の伝統を受け継ぐ会

白石島



白石島

写真提供 岡山県









源平水島合戦

寿永二年閏十月一日
(1183年11月17日)

現在の岡山県倉敷市の
水島灘





柏島：平家軍

乙島：源氏軍

国の重要無形民俗文化財

ユネスコ無形文化遺産



日本の代表的
盆踊りの一つ

源平合戦以来800年の伝統

13種類の踊り

手拍子が無く合掌で祈る

誰でも踊りの輪に招き入れる

白石島の現状

過疎・少子高齢化

小学校は
休校中

踊りの後継者不足

中学校も
休校中

白石踊存続の
危機

継承

笠岡市内の 定期練習会参加

校内練習会開催



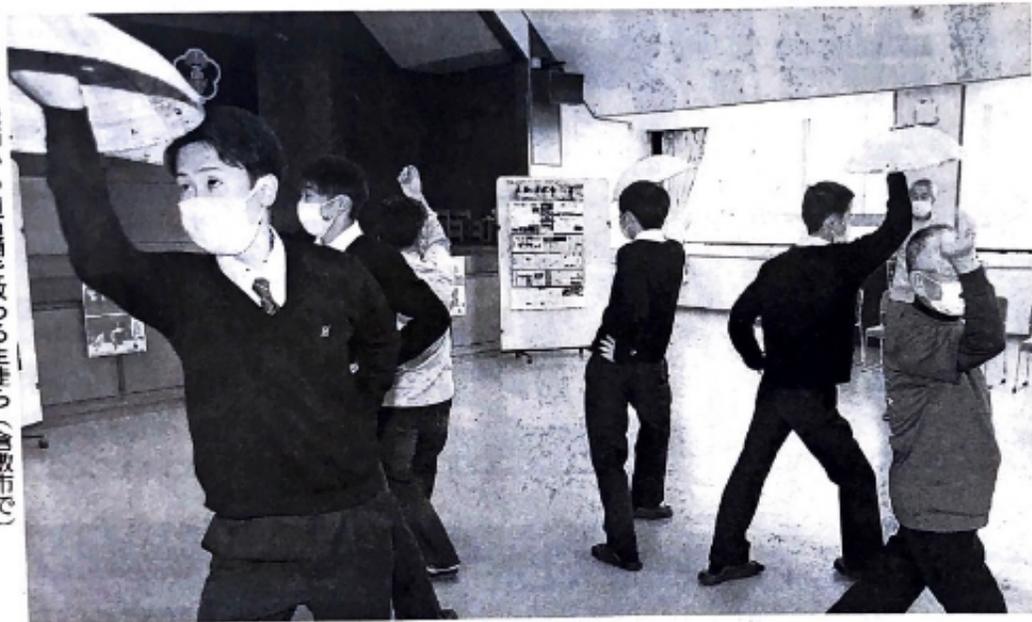
令和4年11月8日
読売新聞

白石踊 次代へつなぐ

国連教育・科学・文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に、伝統的な盆踊りや念仏踊りで構成する「風流踊」が登録される見通しとなった。その一つの笠岡市・白石島の「白石踊」を後世に伝える講習会が7日、倉敷翠松高校（倉敷市）で行われた。

（浜端成貴）

倉敷翠松高で講習会



講師から白石踊を教わる生徒ら（倉敷市で）

「男」、「ブラブラ」など5種

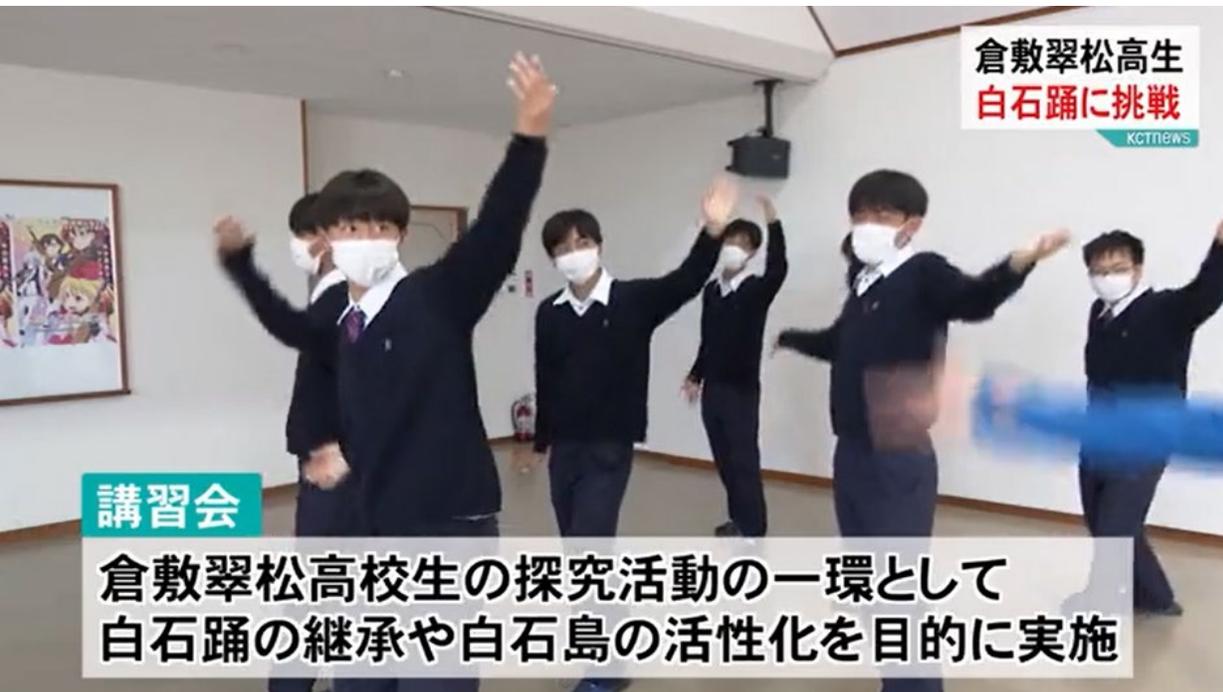
同校教員に白石島の関係者がいることから、白石踊の継承を目指す、今年度から生徒15人が島の歴史や振り付けの研究を授業の一環として開始。6月には「白石踊会笠岡支部」のメンバーを学校に招き、踊りの指導を受けた。一部の生徒は今夏、実際に島に渡り、白石踊を体感したという。

今月初め、風流踊が無形文化遺産に登録される見通しになったと文化庁が発表してから、最初となった7日の活動は自然と熱が入った。5人の講師は「菅笠は直線を意識してメリハリをつけて動かす」などと具体的なアドバイスを送りながら、「男踊」や「ブラブラ踊」など5種類の踊りを伝授した。

参加した小山颯月さん(16)は風流踊について伝えるニュースを見て、自分が学ぶ白石踊の価値に改めて気づいたという。小山さんは「振り付けが難しい。でも、次の世代に伝えられるよう、頑張って覚えたい」と語った。父親が白石島出身という天野洋祐教諭(44)は「誇りを持って島の魅力や文化を伝えられる契機になった」と話した。

同校の生徒の一部は20日、岡山の歴史や文化についての研究を発表する岡山市内で行われるイベントに出場し、白石踊を披露する。

令和4年11月8日 倉敷ケーブルテレビ



広報 笠岡市役所HP

白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動 (令和4年8月)

令和4年8月の白石踊に関わる高校生の活動について報告します。

1. 高校生ボランティア・アワード 2022 全国大会 参加

(公財) 風に立つライオン基金主催 高校生ボランティア・アワード 2022 全国大会に参加しました。8月16日～17日に東京の新宿住友ビル三角広場で開催されました。地区大会を経て全国から98チームがそれぞれのブースで自分たちの取り組みを紹介しました。

私たちは、他のチームの高校生に白石踊の伝統や私たちの活動を紹介しました。紹介していく中で「実際に踊を踊ってみて」と凄く興味を持ってくれる方もいてとても嬉しかったです。さらに、シンポジウムでは白石踊のことをお話する機会をいただき、会場の高校生の皆さんに取り組みを知っていただけでした。

全国の高校生がおこなっている様々な活動、ボランティアには沢山の方法があることを知ることができてとても勉強になりました。私たちと同じように伝統を引き継いでいるチームがあり、これからのようにして広めていくかお互いに話し合いもできました。これからの活動に生かして行きたいです。

この高校生ボランティア・アワードには4年前に渡辺陽先輩が初参加しました。4年前は横浜でリアル開催されたのですが、その後2年間はオンライン開催でした。今回の新宿での開催は3年ぶりに高校生たちが集まることのできた大会になりました。全国の皆さんとお会いできたことを大変嬉しく思います。

なお、渡辺陽先輩は、今回は運営のボランティアスタッフとして参加していました。また、4年前に横浜会場で取材してくださった岩波ジュニア新書の編集長も白石踊のブースに立ち寄ってくださいました。岩波ジュニア新書「ボランティアをやりたい! —高校生ボランティア・アワードに集まれ!」には、白石踊の継承活動も載っています。

(文章: 白石颯汰)



第13回 おかもやま新聞コンクール

受付期間 2023年 9月1日～11月30日

対象 小学校、中学校、高校、中等教育学校、特別支援学校などの児童生徒

部門 小学校低学年、小学校高学年、中学校、高校

学校応募でも個人応募でもOK!
応募用紙はウェブサイトからダウンロードして印刷もできます

新聞感想文の部

新聞を読んで感想文を書こう!

2023年1月以降の新聞記事を読んで感想を書く

- 小学生 400～800文字
- 中学生 800～1000文字
- 高校生 800～1000文字

*記事の切り抜きを添付、インターネットからのコピーは不可
*作品は返却しません

新聞づくりの部

オリジナルの新聞をつくろう!

2023年1月以降の作品に限る
テーマは自由(題字、日付、発行人を明記)

- 小中学生はA4～横造紙、片面のみ
- 高校生はA3、片面のみ

*高校生は作品を送却しません
*小中学生の希望者のみ作品を送却します

★学校からの応募は、校内選考をして、1クラスに1点の割合で選んでください。校内選考を通過した時点で「入選」候補となり、上位審査の対象となります。

最優秀賞 小学校低学年、小学校高学年、中学校、高校の4部門で、それぞれ1点 (メダルと賞状、図書カード3万円分)

優秀賞 小学校低学年、小学校高学年、中学校、高校の4部門で、それぞれ4点 (メダルと賞状、図書カード5000円分)

郷土賞 新聞づくりの部のみで、それぞれ2点 (メダルと賞状、図書カード5000円分)

さん太ハート賞 全部門から数点 (該当作品がない場合もあります) (メダルと賞状、図書カード5000円分)

入選 (賞状、図書カード1000円分)

学校賞 (図書カード1万円分)

応募者全員に、オリジナルのさん太クリアファイルを贈呈!

表彰式 2024年2月25日(山陽新聞社さん太ホール)予定 **作品展** 2024年2月24、25日(山陽新聞社さん太ギャラリー)予定

応募方法 応募用紙を添えて郵送が特約

〒700-8634 岡山県北区柳町2-1-1 山陽新聞社読者課「おかもやま新聞コンクール」係

問い合わせ先 山陽新聞社読者課「おかもやま新聞コンクール」係

☎086-803-8075 (平日午前10時～午後5時)

詳しくは、山陽新聞ウェブサイトをご覧ください!

おかもやま新聞コンクール

QRコードも▶

主催 岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、山陽新聞社

後援 岡山県市町村教育委員会連絡協議会、岡山県市教育委員会教育長協議会、岡山県町村教育委員会、岡山県小学校長会、岡山県中学校長会、岡山県高等学校長協会、岡山県特別支援学校長会、岡山県学芸会

協賛 岡山県市長会、岡山県町村会、協賛組合山陽新聞社協会

広報

備中伝統芸能フェスティバル 新聞投稿（NIEの観点からの引用）



倉敷芸文館 2022年7月31日

白石踊の探究活動に力

石井里奈 高2（倉敷市）

私は今年度、学校の探究活動で白石踊の伝統を伝えていくため、仲間とインターネットで調べたり、白石島を訪れ白石踊を実際見て学んだりしてきました。この活動は、以前から他校の高校生が取り組んでおり、その生徒の皆さんが、7月に倉敷市芸文館で行われた備中伝統芸能フェスティバルでの白石島についての展示を行いました。

その手伝いをする中で、白石島に関する陶磁器や灯籠を見ることができました。島の方々の白石踊を伝えていこうという気持ちが伝わり、感慨深くなりました。また白石踊の際に着る衣装を着てこられた方もおり、画像で見るとよりも実際に見てみて伝統をじかに感じられ、とても良い経験になりました。

今まで白石踊について体験したことは小さなことばかりですが、その小さなことを積み重ねていき白石踊の魅力・伝統を伝えていけるように、これからも白石踊について知識を積み探究活動に力を入れて取り組んでいきたいです。

山陽新聞2022年9月10日

伝統芸能の知識増やしたい

磯山友姫 高2（倉敷市）

倉敷市芸文館で備中伝統芸能フェスティバル「藤戸」演能会のボランティア活動に参加しました。

小学生か中学生の頃、音楽の時間にビデオで見た時は何の知識もなく、あまり分からない状態でした。しかし、学校での探究活動で笠岡市白石島の白石踊について学んでおり、その中で源平合戦の水島での合戦を学んだことで少し知識がついており、興味を持ち長い公演を見ることができました。知識があった分、内容が入ってきやすく迫力があってすごかったです。

ずっと見ていると出演している中に子供もおり、ゆっくりとした動作や難しそうなせりふなど、覚えるのが大変と思われることをしていることに気付くこともできました。他にも連調や仕舞などさまざまな芸能を見ました。言葉が分からない部分もありました。

今後は、昔と今の言葉や表現の違いも調べ知識を増やしていきます。さらに白石島の歴史を調べるとともに、演能も少し調べて動画などを探し見てみようというきっかけにもなりました。

山陽新聞2022年10月2日

広報

風に立つライオン基金

高校生ボランティア・アワード2022,2023 全国大会

高校生 VOLUNTEER AWARD 2022



高校生 VOLUNTEER AWARD 2023



新宿住友ビル三角広場

静岡県立島田商業高等学校との交流



交流人口

笠岡市沖の白石島で16日夜、源平合戦に由来するとされる盆踊り「白石踊」（国指定重要無形民俗文化財）の体験・鑑賞ツアーが開かれた。新型コロナウイルス禍の中止を経て3年ぶりの開催。岡山県内外の約50人が参加し、みやびで、どこかもの悲しい舞を堪能した。

夕暮れの海水浴場に、着物や法被姿の島民が登場。太鼓と唄い手を囲み、「ヨーホイ、ヨーイヤナイ」という独特の掛け声に合わせて、笠や扇子を使った

伝統の踊りを披露した。

福山市から訪れた松井温子さん(68)は「幻想的な空間で見る優雅な踊りに感動した」と話していた。

白石踊は、源平水島合戦(1183年)の死者を弔ったのが始まりとされる。男、女、笠など異なる振り付けが13種類あり、一つの音頭で、複数を同時に繰り広げるのが特徴。8月13～16日には盆踊りが行われる。ツアーは観光客向けに島民でつくる白石踊会が主催した。(平松隆)

白石踊みやびやか 笠岡で3年ぶり体験・鑑賞ツアー



夕闇迫る砂浜で、伝統の白石踊を披露する島民たち＝16日午後7時16分、笠岡市の白石島（今中雄樹撮影）

白石踊ツアー 2022年7月16日





白石踊 鑑賞・ 体験ツアー

「地域の伝統行事等のための伝承事業」

私たちの祭り探検 #5 岡山県・笠岡 島の盆・白石踊

[私たちの祭り探検 #5 岡山県・笠岡 島の盆・白石踊 - YouTube](https://www.youtube.com/watch?v=kzycAmGZE5k)

<https://www.youtube.com/watch?v=kzycAmGZE5k>

7分40秒～8分15秒





地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための力になる。
地域内で各世代が協力することで安全で助け合いやすい町づくりの力になる。

**白石島の方々に感謝しながら
これからも私たちは
白石踊を守っていきます！**



白石島